



船引小学校だより



【教育目標】
思いやりのある子ども
よく考えてしっかり学ぶ子ども
進んでからだをきたえる子ども

令和元年10月31日
田村市立船引小学校
発行責任者
校長 有賀 仁一

平常時の教育活動に！

台風19号による被害と対応の状況

～ 困難な状況下でも、力を合わせ

みんなで乗り切る“学び”に！～

今回の台風19号の被害にあわれた皆様にあらためてお見舞い申し上げます。船引小学校もこれまでにない大きな被害を受けました。大滝根川の氾濫で校舎ピロティーが約1m浸水し、大量の土砂が流れ込みました。これに伴い、フェンスがなぎ倒され、アスファルトがはがされ、給食室の扉が打ち破られ、大型の冷蔵庫・冷凍庫が押し流され横倒しになる等しました。倉庫にしまっておいた多くの学校備品は泥をかぶり全て廃棄せざるを得ませんでした。1日も早い復興をめざし、市教委や業者等の応援をいただき、教職員全員が泥にまみれながら、ごみの搬出や廃棄、泥の除去や消毒を行いました。



最も大きな痛手となったのがキュービクル（変電設備）への浸水でした。停電したのは12日（土）21時41分、時計は今も止まったままです。電気が通らないために、照明がつかない、インターネット・電話がつかない、印刷・コピーができない、お湯が沸かせない、水を送れない、トイレが使えない等々、学校としての機能を果たせない状況になりました。

こうした中、関係各位のご尽力で、16日（水）夕方には、手動ですが水を高架水槽に送ることができるようになり、まずは、2日間の休校だけで学校を再開できました。ただ電気が通らないため、発電機やLED照明を集めてよりよい学習環境の確保に努めました。21日（月）には、大型の発電機が確保でき、校舎内各教室の照明だけはまかなえるようになりました。

この他、エレベータの復旧見通しがつかず、給食の配食に苦慮していますが、方法を工夫し、シルバー人材の派遣応援もいただきながら、子どもたちも力を合わせ対応してくれています。

こうした中、関係各位のご尽力で、16日（水）夕方には、手動ですが水を高架水槽に送ることができるようになり、まずは、2日間の休校だけで学校を再開できました。ただ電気が通らないため、発電機やLED照明を集めてよりよい学習環境の確保に努めました。21日（月）には、大型の発電機が確保でき、校舎内各教室の照明だけはまかなえるようになりました。

この他、エレベータの復旧見通しがつかず、給食の配食に苦慮していますが、方法を工夫し、シルバー人材の派遣応援もいただきながら、子どもたちも力を合わせ対応してくれています。



(前からの続き) 現段階での見通しでは、11月5日(火)に電源が完全復旧します。この後、ファンヒーターやエレベーター、プール浄化槽等の浸水被害を受けた電気機器の作動確認を行い、必要に応じて修繕します。スクールバスが旋回できるように駐車場の剥がれたアスファルト舗装の補修、川沿いフェンスの補修、プールに流入した泥の除去等、順次行われる予定です。完全復旧までは、今しばらくかかりますが、“困った”だけで終わらせるのではなく、こうした“困難な状況でもみんなで力を合わせ乗り切る”というひとつの“学びの機会”にできるよう先生方と努めて参ります。

努めて平常時の教育活動を！

交通安全パレード堂々の行進！

～ 第10回田村地方交通安全大会によせて ～

被災後、24日(木)には、5・6年生の鼓笛隊が船引中学校から船引公民館まで、沿道の大きな声援を受けながら交通安全パレードに参加し、3年に1度巡ってくる田村地方交通安全大会に華を添えました。運動会での取り組みの成果を生かし、少ない練習でも立派な演奏を披露してくれました。



校内マラソン大会で力走！

～ 自己目標への挑戦！ ～

24日～31日にかけて、学年ごとに校内マラソン大会を実施しました。各学年共100名前後の保護者の皆様が応援に駆けつけてくださり、子どもたちも走りに気合が入っていました。体力の増強と忍耐力の育成等を目的に取り組んでいますが、お子様のがんばりはいかがだったでしょうか？



教員の授業力向上のために！

～ 外部講師を招いての授業研究・研修会！ ～

30日(水)には、福島県教育センター渡辺宗指導主事を招聘し、1年1組佐久間亜依子教諭の授業を全教員で参観し、よりよい授業の在り方について研修しました。年間を通して、全教員が指導案を作成しての授業研究に取り組み授業力の向上に努めています。8日(火)は、東京から国語科教育の第一人者である筑波大学附属小学校の青木伸生先生をお招きし、示範授業と講演をいただきました。先生方も一流にふれ一流を目指す。そんな取り組みを大切にしながら、子どもたちの教育の充実を図っています。



プロの指導と豊かな体験！

～ 文化庁の事業や田村っ子の元気を支援する事業を活用して！ ～

体育科のダンス学習のために文化庁の事業を活用した4～6年のヒップホップダンス教室をはじめ、震災復興支援事業で、1・2年の工作教室、3年の張り子教室、4年のサイエンス教室、5年の陶芸教室、6年の陸上教室を行っています。いずれも、その道のプロが指導してくださっています。これからの教室もありますが、今月はこれら多くの教室が開催され、子どもたちは専門家の指導に喜々として取り組んでいました。